

教科	図画工作	学年	第 2 学年
----	------	----	--------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のもどまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
すきなこと ななに	2	●【た】ことと見たことをたのしく描く。 ●【描】きたい場面を思いつく。 ●【色】きな色で、気にいった形になるように工夫する。 ●【自分や友達】の作品のよいところを見つける。	・絵に表したり友達の作品を見たりすることを通して、描かれたものの形や色のよさに気づいている。 ・表したい場面になるように、形や色、描き方を工夫して表している。	・経験をもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	・自分が好きなことを絵に表すことに興味をもち、たのしく取り組もうとしている。
くつつきマスコット	4	■【く】つつきマスコットをたのしくつくる。 ●【く】つつくと面白いマスコットを思いつく。 ●【形】や色、くつつき方を工夫する。 ●【自分や友達】の作品のよいところを見つける。	・遊んだり、実際に使ったりすることを通して、作品の形や色のよさ、面白さに気づいている。 □くつついたり、離れたりする磁石の特性を生かした形や色、しかけなどを試しながら工夫して表している。	・磁石の特性をもとにつくりたいものを思いつき、どのように表すかを考えている。	・磁石を利用したおもちゃや飾りをつくることに興味をもち、たのしく取り組もうとしている。
えのぐじま	4	●【え】のぐと筆を使つたのしく描く。 ●【描】きたい「えのぐじま」を思いつく。 ●【筆】を大きく動かして、描き方を工夫する。 ●【え】のぐを塗る気持ちよさを感じとる。	・互いの作品を見合うことを通して、互いの「えのぐじま」の形や色、筆触の違いなどに気づいている。 □筆の太さや手を動かす速さや強さによる筆触、色使いなどを試しながら、工夫して表している。	・「えのぐじま」「にじのふるさと」などの言葉から表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	・絵の具を筆で塗る快さを味わいながら、心を開いてたのしく取り組もうとしている。
にじいろコレクション	2	■【色】水をつつたり、並べたりすることをたのしみむ。 ●【色】水を使つて、してみたいことを思いつく。 ●【色】水のつくり方や並べ方を工夫する。 ●【自分や友達】の作品のよいところを見つける。	・色水をつつたり並べたりすることを通して、混ぜたときの色の変化や並べたときの形や色の面白さに気づいている。 □いろいろな色の色水をつつたり、好きな容器に入れて並べたりするなど、活動を工夫してつづけている。	・つくった色水の色や、容器を並べた形をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。	・色水をつつたり、並べたりすることに興味をもち、思いついた活動にたのしく取り組もうとしている。
つづきえとんどん	2	■【図】像を膨らませて、たのしく描く。 ●【口】ながるお話を思いつく。 ●【話】話の描き方や紙のつなぎ方を工夫する。 ●【自分や友達】の作品のよいところを見つける。	・紙を貼って次の絵を足すことで、時間の経過や世界の広がりなどの視点でお話を広げながら絵を描けることに気づいている。 □紙を貼る位置によってお話に変化をもたせるなど、自分なりに試しながら工夫して表している。	・紙を貼り足して絵を描くことで時間の経過や世界の広がりなど自分のイメージをもちながら何をどのように描くかを考えている。	・お話を考えながら絵を描くことをたのしんでいる。
ギュッとしたいわたしの「お友だち」	4	■【お】友だちをつくることをたのしむ。 ●【円】な「お友だち」をつくるか思いつく。 ●【形】や色、材料の使い方を工夫する。 ●【自分や友達】の作品のよいところを見つける。	・【紐】の大きさや触り心地など材料の特徴から生まれる「お友だち」の形や色の美しさや面白さに気づいている。 □紙の大きさや紙の形、紙のめみ方、紙の貼り方や中身の詰め込み方などを工夫して表している。	・もんだ紙の感触を味わいながら、自分の表したい「お友だち」を考えたり思いついたりしている。	・もんだ紙で自分の「お友だち」をつくることに興味や関心をもっている。
どうぶつさんといっしょに	6	●【動物と自分】をたのしく描く。 ●【日】番描きたい場面を思いつく。 ●【描】きたい場面になるように、形や色を工夫する。 ●【自分や友達】の作品のよいところを見つける。	・互いの作品を見合うことを通して、動物やまわりの様子の形や色のよさに気づいている。 □表してみたい場面になるように、形や色、描き方を工夫して表している。	・動物を見たり動物と遊んだりしたときの気持ちをもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	・動物を見たり動物と遊んだりしたときのことを思い出しながら、たのしく活動に取り組もうとしている。
ひみつのグアナコ	2	■【グ】アナコをたのしくつくる。 ●【グ】アナコという言葉から、表したい生きものを思いつく。 ●【グ】ねったり、つまみ出ししたりして、形を工夫する。 ●【自分や友達】のグアナコのよいところを見つける。	・手で粘土の塊へ働きかけることを通じて、粘土の形や質感がさまざまに変化する面白さに気づいている。 □粘土の塊をひねる、つまむ、穴を開けるなど、手や体全体の感覚を働かせながら、表し方を工夫して表している。	・言葉のもつイメージから発想を広げ、自分の「グアナコ」を、粘土を操作しながら思いついでいる。	・言葉から想像した動物や生き物をつくることに興味や関心をもっている。
コロコロ大きくせん！	4	■【転】がるおもちゃをたのしくつくる。 ●【転】がり方からおもちゃを思いつく。 ●【転】がり方に合う形や色を工夫する。 ●【円】のしく動かして遊ぶ。	・転がる動力源であるコロコロエンジンと、かぶせる容器の組み合わせで多様な転がり方や動きが生まれることに気づいている。 □転がり方や動きから得たイメージをよりよく表すために、形や色を工夫して表している。	・動きの特徴をもとに自分のイメージをつかんだり、動きを変化させて新しいイメージをもったりして考えている。	・動きの特徴に関心をもち、いろいろな材料やつくり方を試しながらつくることをたのしんでいる。
ぼかしあそびで	4	■【ぼ】かし遊びをたのしむ。 ●【ぼ】かしてできた形や色から描きたいものを思いつく。 ●【円】ろいろなぼかし方を工夫する。 ●【自分や友達】の作品のよいところを見つける。	・いろいろなこすり方を試すことを通して、そこから生まれる形や色の美しさや面白さに気づいている。 □いろいろなこすり方を試したり組み合わせたりしながら工夫して表している。	・クレヨンやパスをぼかした形や色などをもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	・クレヨンやパスを用いたぼかし遊びに関心をもち、たのしく取り組もうとしている。

切って、ひねって、つなげると	2	■切ったり、ひねったりしながら、表したいことを思いつく。 ●紐バックの切り方やひねり方、つなぎ方を工夫する。 ●自分や友達の活動のよいところを見つける。	・空中で切り落とさないという条件で紙バックを切ってひねってつなげると新しい形が生まれることに気づいている。 ■はさみなどの用具を体の一部のように扱い、手や体全体の感覚を働かせて、紙バックの切り方やひねり方、つなぎ方などを工夫して表している。	・紙バックを切ったりひねったりしてつなげると生まれる形や色をさまざまに試しながらイメージを広げている。	・紙バックを切り開いて、つなげて形を変えていく活動をたのしんでいる。
キラキラシャボンで	4	■泡で模様をつくることをたのしむ。 ●泡の形や色からどんなお話を思いつく。 ●話をに合わせて、描き方を工夫する。 ●泡の形や色の面白さを感じとる。	・絵の具の泡模様の形や色の美しさや、泡の形や色を組み合わせた美しさなどに気づいている。 ■絵の具の泡のつけ方、並べ方、色の組み合わせ方などを工夫して表し、結果としての泡模様から思いついたお話の描き方を工夫して表している。	・泡のつけ方や色をさまざまに試し、できた泡の形や色から自分のイメージをもち発想を広げている。	・泡で模様をつくり、絵に表すことをたのしんでいる。
ちきゅうからのおくりもので	2	■自然の材料を使って、たのしく活動する。 ●材料の形や色から、してみたいことを思いつく。 ●並べ方や組み合わせ方を工夫する。 ●自分や友達の活動のよいところを見つける。	・自然の材料を集める活動を通して、自然の中の材料の形や色などのよさに気づいている。 ■自然の材料の形や色の美しさを生かし、並べたり、つないだり、積んだりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、工夫して表している。	・集めた材料の形や色、材質などから活動を思いついたり、考えたりしている。	・自然の材料を集め、形や色などから思いついた活動をたのしんでいる。
あつめて、ならべて、いいかんじ	4	■飾るものをたのしくつくる。 ●並べたり、重ねたりしながら、飾るものを思いつく。 ●材料の形や色、並べ方や貼り方を工夫する。 ●自分や友達の作品のよいところを見つける。	・材料の形や色の並べ方を工夫すると生まれる新しい美しさなどに気づいている。 ■和紙を台紙にして材料の形や色を並べて貼る方法を、手や体全体の感覚などを働かせ、工夫して表している。	・集めた材料を並べる、重ねる、組み合わせるなど、自分の考えや感覚を大切に想像を広げている。	・材料の形や色、感触などを生かした活動をたのしんでいる。
カッターナイフタワー	6	■カッターナイフタワーをたのしくつくる。 ●くりたいタワーを思いつく。 ●紐の切り方や立たせ方などを工夫する。 ●自分や友達の作品のよいところを見つける。	・カッターナイフで切った線の美しさや、カッターナイフだからこそできる表現のよさに気づいている。 ■安全で正しいカッターナイフの扱い方を身に付け、紙に美しく切り込みを入れて立体的に表す方法を工夫している。	・紙の折り方や窓の形、画用紙の色の組み合わせ方などをさまざまに試しながら考えている。	・カッターナイフで紙を切る快さを味わいながら紙工作をすることをたのしんでいる。
形の「かくれんぼ」	2	●貼つけたものをたのしく描く。 ●隠から新しいものを思いつく。 ●面白いものの形や色を工夫する。 ●自分や友達の作品のよいところを見つける。	・不定形の向きを変えたり絵を描き加えたりすると新しい意味が生まれることに気づいている。 ■不定形の形から見立てたものをわかりやすくしたり面白くしたりするよう工夫して絵に表している。	・不定形に切り取った画用紙の形から表現したいものを考えている。	・不定形から思いついたものを描く活動に興味をもったのしんでいる。
うつして見つけて	6	●版画をつくり、写したりすることをたのしむ。 ●写し方を試しながら、表したいことを思いつく。 ●繰り返しや重なりなど、写し方を工夫する。 ●自分や友達の作品のよいところを見つける。	・版を並べたり重ねたりして表すことを通して、写るものの形や色の美しさや面白さに気づいている。 ■版の並べ方や重ね方、写す位置などをいろいろと試すなど、工夫して表している。	・ローラー遊びや型紙版画の表現、および版の組み合わせなどを試しながら表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	・型紙版画の表現に関心を持ち、版で表す活動にたのしく取り組もうとしている。
かぶってへんしん	4	■お面をたのしくつくる。 ●くりたいお面を思いつく。 ●色や色。紙の貼り方を工夫する。 ●お面をかぶって、たのしく変身する。	・くりたいお面で遊ぶことを通して、お面の形や色の面白さ、持ち上げたときの軽さや扱いやすさなどに気づいている。 ■土台となる型の形やお花紙の貼り方、飾り付けの方法などをいろいろと試すなど、工夫して表している。	・自分が変身してみたい姿をもとにつくりたいお面を思いつき、どのように表すかを考えている。	・お面をつくって変身することへの興味をもち、たのしく取り組もうとしている。
どきどきカード	2	■カードをたのしく描く。 ●表したい場面を思いつく。 ●カードの形や色、開き方を工夫する。 ●自分や友達の作品のよいところを見つける。	・形や色、開き方などを工夫することで、表したい気持ちが伝わりやすくなることに気づいている。 ■表したい内容に合わせて、形や色、開き方などを工夫して表している。	・たのしかったことやうれしかったことなど、表したい場面を思いつき、どのように表すかを考えている。	・生活の中から自分がたのしいと感じたことやうれしかったことなどを絵と文章にして表すことに興味や関心をもっている。
ピコリン星 ゆめのステージ	4	■くり、飾りつけして、たのしむ。 ●飾りたい「ピコリン星」を思いつく。 ●材料の使い方などを工夫する。 ●くり、飾ったものをみんなで展示したりたのしく遊んだりする。	・「ゆめのステージ」の展示では、自分と友達の作品のよさ、および作品を持ち寄ったのしい「ピコリン星」を表すという活動のよさに気づいている。 ■材料の特徴やこれまでに経験したつくり方を生かし、自分がつくりたい「ピコリン星」を工夫して表している。	・自分の夢やあこがれ、してみたいことなどといったテーマ、および材料などから、表したい「ピコリン星」の様子を考えている。	・「ピコリン星人」をつくり、夢の「ステージ」で紹介して展示したりすることに興味や関心をもっている。

